

再編



景気もなかなかよくなり、家計に不安を感じている人もいるのでは。「家計の節約レシピ」でおなじみの税理士でCFP®の林高宏さんに家計再編術を教えてくださいました。

家計を見直すには、まずお金の流れを把握することが大事です。昨年1年間の収入・支出の記録がある場合はそれを使い、ないときにはこれから1カ月分の収入・支出を記録し、そのデータをもとに予算を立ててみましょう。

予算内での生活を めざそう！

まずはお金の流れの入口、「収入」を把握しましょう。税金などを差し引いた手取額で金額を出します。
給与が銀行振込の場合は通帳を手エックすると分かりやすいです。また、年収は源泉徴収票では把握できない(手取額は記入されていない)ので注意しましょう。

家計簿は1円単位で細かくつける必要はありません。お金の流れを見るために、おおむねに記録するだけでOK。千円単位でもいいですし、通帳に直接書き込んでもいいので、自分に合った方法で続けましょう。

税理士、CFP®、
志学館大学非常勤講師
林 高宏さん



●プロフィール●

1960年鹿児島市生まれ。同志社大学卒業後、国税局勤務を経て96年税理士事務所を開設。著書に「一人で生きる女性のお金が貯まる本」「良い税理士・ダメな税理士選別ガイド」などがある。http://www.tenmonkan.co.jp/~hayashi/

①世帯収入を 把握しよう

把握しよう

②お金(支出)の ゆくえを知る

支出を食費、住居費などおおざっぱに5項目くらいに分けます。預金通帳やカードの明細を利用すると便利です。どの項目の出費が多いかを手エックし、数値で自分の消費傾向を把握しましょう。

例

ほぼ一定の支出

- 食費
- 居住費…家賃、水道光熱費、通信費、住宅ローンなど

変動する支出

- 車両関係費…自動車税、車検代、ガソリン代、車両保険など
- 娯楽費…レジャー費、こづかい
- その他…生命保険、医療費、日用品など

新年から家計



③ 予算配分

5項目それぞれに予算を配分します。年間〇万円、月額〇千円など。見直ししやすいのは「変動する支出」の部分です。

ついつい他の予算から流用してしまいがちですが、意志を強くもつて予算内で生活するように心掛きましょう。

見直しポイント

車両関係費

1世帯に2台ある場合は1台に減らす、普通乗用車を軽乗用車にかえるなど。

生命保険

基本的にはいくらまでと予算を決めて、その予算内におさまる保険を選びましょう。「保険≠貯金」と

は考えないように。「掛け捨ては損」と思い込まず、実際に支払総額を算出して考えましょう。無料相談も開催されているので、利用してみるのもよいでしょう。

娯楽費

基本的には予算を組んで余った金額をあてます。目標(使用目的)を決めて計画的に積み立て、目標金額に達成したら使うなどの工夫を。生活費とは完全に分け、娯楽費のみの通帳を作るのがおすすめです。

④ 自分の“体力”を知る

月ごとに支出を記入し、3カ月に1度くらいチェックをします。予算通りに支出が収まっていなくても、続けて1年くらいのデータを取りましょう。「今月は使い過ぎたから、来月は気をつけよう」

などと意識することが大事です。1年分のデータを集計しチェックすると、自分がどんな生活ならできるのか、どこに重きを置いているのか知ることができます。無駄を見つけたら省き、余剰金が生じた場合は何に使うか決めましょう。

予算通りの生活ができたなら、たとえば自分への褒美に旅行をするなどしてもいいでしょう。予算通りにできなかつたときは、「その予算は削減できない」と考え、次の予算配分を変更しましょう。節約もよいのですが、心豊かな暮らしも大切です。



Q. あるだけ使ってしまった貯金ができません!

A. 最初に「ない」状態を作りましょう。給料引きの自動積立をするなど「最初からその分の収入はないもの」とみなして生活しましょう。生活費とは完全に切り離して管理します。たとえば、赤字が出たとしても自動積立を1年続け、貯めた金額を家から遠いなど利用しにくい銀行にすべて定期預金として預け入れるなども一つの手段です。



家計のお悩み Q&A

Q. ほしいものがいっぱいあります!



A. 本当に必要なものは何かを考えましょう。たくさん物を持っていても実際に使用しているのは一部であることも。まずは整理してみましょう。それからほしいものをリストアップしてみます。優先順位をつけ、それぞれ期日を設定し、いくら必要か金額を記入します。忘れてしまいがちなので、目に見えるように表にし、達成できたものは赤線で消していくとよいでしょう。

Q. 夢のマイホームを購入したい!

A. まず「どこに住みたいか」を決めましょう。そして、たとえば購入費として「3000万円」「2000万円」「1000万円」のパターンがある場合、どの金額なら支払えるかを考えます。このとき、「この支出をこのくらいに抑えてローンに回そう」などと計画を立てるのではなく、「これまでいくら支出した(どんな生活をしてきた)」という実際のデータをもとに「余剰金」からの支払いを考えるようにしましょう。無理な場合は購入しないように。

1年間くらい、ローンを支払うつもりで積立貯金をし、それを取り崩さないうちで生活できたらマイホーム購入に踏み切るなどしてもよいでしょう。



Q. カードでついたくさん買い物してしまいます

A. クレジットカードは「月額〇万円まで」などと決めて利用しましょう。ポイントをうまく活用するには、1~2枚程度の利用がおすすめ。多数持っているときは、よく使うものを、年会費やポイントなどを計算して絞り込みましょう。持つ目的が明確でないもの、自分のライフスタイルに合わないものは廃棄しましょう。

アドオン方式を利用したりボルディング払い機能がついたカードも多くあります。借入した元金をもとに利息を計算し、元金と利息を合わせた金額を分割して支払う方式ですが、通常に比べると利率が高くなります。毎月の定額返済で便利のように感じられますが、その分支払い期間が長くなったり、返済能力を上回る買い物をしやすくなったりします。支払総額を算出して考え、節約したいのであれば、利用は極力避けましょう。